病児保育協議会
NEWS
一般社団法人 全国病児保育協議会ホームページ http://www.byoujihoiku.net/
第77号
2015年（平成27年）2月1日
〔発行人〕 会長 稲見 誠
〔発 行〕一般社団法人 全国病児保育協議会
〒154-0002 東京都世田谷区下馬 3-22-13 いなみ小児科内
TEL.03-3421-4885 FAX.03-3411-4936

新年のご挨拶

一般社団法人 全国病児保育協議会 会長　稲見　誠

新年明けましておめでとうございます。

昨年の第24回全国病児保育研究大会は、私が会頭を、大川洋二先生が実行委員長を務め、900人を超える参加者があり、無事に開催することができました。皆様のご協力を心より感謝いたします。

さて、現在内閣府において「子ども子育て会議」が月１～２回のペースで開催されています。この会議では、27年度より開始される子ども子育て支援新システムについて討議されていますが、病児保育事業もこの中に含まれています。政府も民間も今子育て支援の重要性が認識されており、消費税の10%への増額が無くなりましたが、27年度からは従来の計画どおり約5100億円が子育て支援に支出されます。病児保育に関しては、質の向上の目的で優先的に補助金の増額がなされますが、現在のところ基礎部分の補助金の増額（２倍程度？）が予定されています。但し、病児保育施設には地域の保育施設などへの情報の提供や教育の提供などが求められています。新子育て支援法が４月１日より発効されます。様々な子育て支援事業が新設され、また従来の事業も拡大・質向上が始まるでしょう。このような状況下、全国病児保育協議会も子育て支援に向かって、地域の子育て支援ステーション機能を充実していくチャンスであると思います。

現在、協議会内では各委員会・ＰＴが大変活発に活動し、大きな成果を得ています。しかし、委員会・ＰＴの活動は一部の方々が大変苦労して活動しており、より多くの会員の方々が活動に参加して頂ければと痛感しております。また、本邦の病児保育事業の健全な発展と安心・安全な事業を保証する機関は、全国病児保育協議会しかありません。病児保育事業は子育て支援法では「地域子ども・子育て支援事業」に分類され、これは自治体が主体となって行う事業であります。そこで私たちは各支部長を中心に連携して自治体に働きかけるなど、より良い病児保育の実現のために地域活動の活性化が必要でしょう。

会員の皆様、宜しくご協力をお願いいたします。

第25回
全国病児保育研究大会 in くまもと

開催期間
平成27年
7月19日(日)・20日(月・祝)

会　場
くまもと森都心プラザ
ホテルニューオータニ熊本

熊本大会情報を随時更新していきます。お楽しみに！！
ホームページ ホームページ:http://byouji2015.umin.jp

人材育成ができる組織作りを始めよう

一般社団法人 全国病児保育協議会 副会長　大川　洋二

新年明けましておめでとうございます。今年は羊年。迷っていた子羊達が羊飼いの世話を受けることなくようやく独り立ちできるようになるかもしれません。

昨年病児保育専門士制度が発足し、第１回の専門士170人が誕生しました。今年度も50人余りの方が誕生する予定です。この専門士の役割は病児保育の運営に専門的知識と経験に基づき、病児にとって最適な保育環境を提供し、安全安心の制度であることを担保するものです。しかしそれだけではありません。専門士は病児保育に携わる保育士、看護師、さらに医師に対してよきお手本として、教育者として活躍する役割も担っています。人は老いますが、組織は決して老いることなく、その機能をますます充実し、レベルアップしていかなければなりません。老いていく人間が作る決して衰えることなく成長進化する組織作りの基本は人材育成です。そのためには常にリニューアルし、自己革新を続けることです。病児保育の輝かしい未来は会長や副会長があるいは理事が作るのではなく、入りたての未熟な保育士、看護師こそが作るものです。その為には第１期、２期の病児保育専門士がこの未熟ではあるが将来を背負うのであろう人材への育成機関での中核的役割を担わなければいけません。皆様にも協議会にも充実した日々を迎えましょう。

ごあいさつ

一般社団法人 全国病児保育協議会 副会長　永野　和子

この度、稲見会長のもと副会長を拝命いたしました。14年前協議会に入会した頃、各施設の先輩の皆さまに色々と御指導いただき、心強い思いでいたことを忘れることはできません。ありがとうございました。その私がこのような大役をいただき、身の引き締まる思いがいたします。私自身、保育士として病児保育の現場で日々こども達と過ごしております。これまでの保育看護の実践の中で、「単に病気の時にこどもを預かるのではなく、そのこどものすべてのニーズを満たす」という協議会の理念に、病児保育に高い専門性が必要であることを痛烈に感じております。まだまだ勉強不足ではございますが、これからも加盟施設の皆さまと一緒に、未来を担うこども達の幸せのために「病児保育学」を極めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

ごあいさつ

一般社団法人 全国病児保育協議会 副会長　佐藤　里美

このたび稲見会長のもと副会長を拝命いたしました。協議会に入会して間もない頃より広報委員会に関わらせていただき、その後も研修委員会、感染症対策委員会、資格認定委員会などの委員会活動を通して多くの先生方のご指導と会員の皆様からのご支援により今日に至り感謝しております。

病児保育の現場では開設以来延べ10,000人余りの子どもたちに出会いました。看護職として病児のケ

ア、感染対策、多職種の連携、保護者支援などを大切にして10,000通りの保育看護をする中で、その奥深さや楽しさを知るとともに管理・運営に関してはその難しさを日々感じております。

病児保育専門士制度も認定され、将来保育看護学という専門分野が確立されることを願い、私自身益々研鑽していかなければならないと思っております。執行部のメンバーとしてはまだまだ微力ではありますが、協議会のお力になれるよう努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

各種委員会の抱負

感染症対策委員会

感染症対策委員長　**大川　洋二**

新年明けましておめでとうございます。
昨年度は感染症ガイドラインの改訂を行いました。毎年改定される予防接種制度について最新の内容に変えました。また感染性胃腸炎の管理方法の変更、新たな項目として疥癬の項目を追加しています。今年度の病児保育研究大会、熊本大会では第5回の感染症セミナーを開催いたします。感染症対策委員による感染症の解説、および会員の皆様から寄せられた感染症に対する質問、室内感染例の解析、病児保育に対するアンケート調査について報告したいと思っています。感染症ガイドラインをより充実した、使用しやすいものにするために御協力ください。

今年度は新たにインフルエンザＡ型、Ｂ型同室保育に関する施設内感染（発症）の検討を倫理委員会の認可のもとに前方視的多施設共同研究を行う予定です。

感染症対策委員会に参加して新しいガイドライン作りに協力していただける方を募集しております。自薦他薦を問わず歓迎いたしますのでご応募下さい。

広報委員会

広報委員長　**藤本　　保**

昨年夏に前委員長の宮﨑先生から引き継ぎました。年５回のニュース発行を確実に行い、本ニュースが皆様の日常活動のお役に立つことを目指します。さらに充実させるために皆様が日頃工夫していることなど、何でも気軽にご投稿ください。

また、ニュース原稿を依頼された時には、お忙しいでしょうがぜひお引き受けください。“皆で作る協議会ニュース”にしましょう。最後になりましたが、広報委員の献身的な努力に深く感謝いたします。

調査研究･インシデント管理委員会

調査研究・インシデント管理委員長　**荒井　宏治**

調査研究・インシデント管理委員会の委員長を拝命しました。本委員会は協議会加盟施設の実態や実績の調査と、各施設から報告されたインシデント・アクシデントの集積や分析を活動としています。これらは病児・病後児保育事業が利用者や運営者にとって、安心・安全であるための資料として還元されます。委員会一同、

いただいたデータをもとに有意義な情報を皆様に提供できるように努力します。

今後もご協力をお願い申し上げます。

機関誌編集委員会

機関誌編集委員長　**原木　真名**

機関誌＜病児保育研究＞は、現在６号の発刊にむけて準備を進めています。

投稿論文は、皆さんの病児保育室での活動の貴重な記録です。刊を重ねるごとに、会員の活動内容が深まっていることが投稿原稿から読み取れます。とても素晴らしいことです。

機関誌に論文を発表することは、自分たちの活動の振り返りになり、会員の病児保育のレベル全体を引き上げることにもつながります。ぜひ、皆さんも投稿してください。

病児保育専門士認定委員会

病児保育専門士
資格認定委員長　**永野　和子**

昨年の７月、専門性の高い病児保育を目指し、究極の子育て支援を行うべく保育士・看護師「病児保育専門士」170名が誕生いたしました。家庭看護へつなぐ看護方法なども研鑽し家族支援へつなぐことができます。日本で唯一、病児保育に従事する保育士・看護師に対する病児保育協議会独自の研修制度を確立できたことを喜ばしく思います。今後も、安全・安心な病児保育環境を提供する「病児保育専門士」を、専門性に富んだ講習内容で養成していきたいと考えております。

研修委員会

研修委員長　**帆足　暁子**

研修委員会は、基礎研修の保障とステップアップ研修の構築を中心に委員会活動を行っております。全国病児保育研究大会になかなか参加できないスタッフを中心に「基礎研修の出張講座」を行っております。

申請書がＨＰからダウンロードできるようになりました。交通費は委員会負担ですので、是非、ご依頼を頂きたいと思います。

新規スタッフの方々に必ず１回は受講して頂き、加盟施設全スタッフの基礎を保障していきたいと考えております。

速報

平成 27 年度の病児保育専門士の講習会は、大阪にて開催いたします。
詳細は、後日、各施設へ郵送でお知らせいたします。

倫理委員会

倫理委員会委員長　**木野　稔**

当協議会では、倫理委員会が設置されていることをご存じですか。病児保育に関する調査、研究、発表等を行うにあたって必要とされる倫理的問題について、審議の上で見解を示します。これまで１件の調査研究について審議しました。委員は７名（会員外１名）です。倫理委員会規程、倫理委員会審議申請書はＨＰからもダウンロードできるようになっています。会員のみなさまからの申請を受付けますので、ご周知のほどよろしくお願いします。

保育園型プロジェクト

保育園型プロジェクト委員長　**髙橋　広美**

「子ども･子育て支援新制度」がいよいよ始まり、保育、地域の子ども、子育て支援の量と質の充実を図ることが謳われました。更に、保育所におきましては幼保連携型認定こども園への移行の準備に取り組んでいる施設もあると思います。
これまでの考え方は、保護者の就労負担軽減の「子育て支援」中心で、子どもの発達の支援や促進などの「子育ち支援」が置き去りになってしまっていたような気がしておりますが、改めて、病児病後児保育が、体調不良児にとっても育ちの支援になるよう保育の質にこだわる一年であるようにと願っています。

広報の部屋

今年も大募集～!!☆広報の部屋☆

毎年恒例の「広報の部屋」。
今年は25回大会記念として抽選であたる景品も豪華!?
募集内容・応募方法は次号でお知らせいたします。
研究大会参加の皆様の交流の場となるよう、広報委員会が全力をあげて取り組みます。お楽しみに！

広報委員会 広報委員長　藤本　保

一般社団 全国病児保育協議会 役員名簿

役職	氏名	所属	施設名
会長	稲見　誠	東京	いなみ小児科 病児保育室 ハグルーム
副会長	大川洋二	東京	大川こども内科クリニック ＯＣＦＣ病児保育室うさぎのママ
	永野和子	熊本	みるく病児保育室
	佐藤里美	千葉	さとう小児科医院 病児保育室バンビーノ
名誉会長	保坂智子	大阪	保坂小児クリニック 枚方病児保育室
顧問	帆足英一	東京	世田谷こどもクリニック
監事	青木佳之	岡山	青木内科小児科医院 山陽ちびっこ療育園
	二宮剛美	三重	二宮病院 四日市市病児保育室カンガルーム
感染症対策委員長	大川洋二	東京	大川こども内科クリニック ＯＣＦＣ病児保育室うさぎのママ
広報委員長	藤本　保	大分	大分こども病院 キッズケアルーム
調査研究インシデント管理委員長	荒井宏治	青森	あらいこどもクリニック病児保育きりん
機関誌編集委員長	原木真名	千葉	まなこどもクリニック ポピンズルーム
病児保育専門士認定委員長	永野和子	熊本	みるく病児保育室
研修委員長	帆足暁子	東京	世田谷こどもクリニック
倫理委員会委員長	木野　稔	大阪	中野こども病院
保育園型プロジェクト委員長	高橋広美	東京	砂原保育園 病後児保育室「とまと」
理事	荒井宏治	青森	あらいこどもクリニック 病児保育「きりん」
	稲見　誠	東京	いなみ小児科 病児保育室 ハグルーム
	大川洋二	東京	大川こども内科クリニック ＯＣＦＣ病児保育室うさぎのママ
	向田隆通	愛媛県	むかいだ小児科病児保育室キッズハウス
	木野　稔	大阪	中野こども病院 病児保育「きしゃぽっぽ」
	佐藤　勇	新潟	よいこの小児科さとう 病児保育室よいこのもり
	帆足暁子	東京	世田谷こどもクリニック
	鈴木英太郎	山口	鈴木小児科医院
	高橋広美	東京	砂原保育園 病後児保育室「とまと」
	永野和子	熊本	みるく病児保育室
	羽根靖之	三重	(医)童心会 よいこ病児保育室
	原木真名	千葉	まなこどもクリニック ポピンズルーム
	福富　悌	岐阜	福富医院 すずらん病児保育園
	藤本　保	大分	大分こども病院 キッズケアルーム
	杉野茂人	熊本	杉野クリニック みるく病児保育室
	宮崎　豊	東京	玉川大学教育学部乳幼児発達学科
	松田幸久	鹿児島	まつだこどもクリニック森のくまさんの家
	米倉順孝	福岡	福岡中央病児デイケアベビートットセンター
	本田直子	埼玉県	ゆうゆうくじら保育園 病児保育室「くじらのおうち」
	綾田敬子	香川県	カンナ子育てプラザ21
	西岡敦子	香川県	西岡医院病児保育室レインボーキッズ

全国病児保育協議会 委員会構成（平成27年1月1日現在）

常任理事会	稲見　誠	大川　洋二	永野　和子	佐藤　里美	藤本　保	木野　稔
	帆足　暁子	荒井　宏治	髙橋　広美	原木　真名		

感染症対策委員会	委員長　大川　洋二					
	荒井　宏治	佐藤　好範	帆足　英一	佐藤　里美	佐藤　勇	
広報委員会	委員長　藤本　保					
	原木　真名	岸本　範子	浪岡　千明			
調査研究・インシデント管理委員会	委員長　荒井　宏治					
	帆足　英一	羽根　靖之	向田　隆通	伊藤　康弘（管理工学研究所）	稲見　誠	大川　洋二
	原木　真名	宮崎　豊	原田　佳明	佐藤　勇武	米倉　順孝	西岡　敦子
機関誌編集委員会	委員長　原木　真名					
	稲見　誠	木野　稔	大川　洋二	羽根　靖之	帆足　英一	藤本　保
病児保育専門士認定委員会	委員長　永野　和子					
	稲見　誠	大川　洋二	羽根　靖之	原木　真名	向田　隆通	木下　博子
	池田　光江	堀込　聖子	宮崎　豊	佐藤　里美		
研修委員会	委員長　帆足　暁子					
	佐藤　里美	佐藤　勇	福富　悌	山内　浩志	原　文子	渋谷　佳子
	今井　七恵	江頭　則子				
倫理委員会	委員長　木野　稔					
	向田　隆通	藤本　保	佐藤　里美	山西　宏樹	鈴木英太郎	
保育園型プロジェクト	委員長　髙橋　広美					
	菊地　恵子	原　文子	岩井美恵子	伊藤佳代子	井崎　和夫	本田　直子
	山田　静子	綾田　敬子	西岡　敦子			

一般社団法人全国病児保育協議会　総会議事録

日時　平成２６年７月２０日（日）１４：００～１５：００
会場　品川区総合区民館　きゅりあん
出席　理事：稲見誠、大川洋二、羽根靖之、原木真名、保坂智子、帆足英一、荒井宏治、木野稔、佐藤勇、高橋広美、永野和子、福富悌、藤本保、佐藤里美、帆足暁子、宮崎豊、松田幸久、杉野茂人、向田隆道
監事：青木佳之、二宮剛美、
顧問：帆足英一
新理事候補：本田直子、綾田敬子、吉田雄司、米倉順孝、横井透、西岡敦子
事務局：池田光江
山西行政書士事務所　山西宏樹、鵜殿税理士事務所　鵜殿知夫、勢島宰

１）会長挨拶

会議開催に先立ち、稲見会長から挨拶があった。

２）議長の指名

定款第１７条の定めにより、会長稲見誠が議長に就任した。

３）定足数確認および議事録署名人指名

議長の指示により、事務局から、社員総数４９名中、本日２４名出席、委任状出席８名、計３２名の出席により、本会議が定足数を満たし適法に成立している、との報告があった。

次いで議長は、定款第２１条第２項の定めにより、本総会の議事録署名人を選任する必要がある旨を述べ、議長は佐藤順一、松本一郎の２名を指名し、議長が議場に諮った結果、満場一致で承認された。

４）審議事項

第１号議案：平成２５年度事業報告の承認を求める件

議案書に基づき、各担当理事が平成２５年度事業報告の内容について説明を行った。内容は議案書の通り。

議長が議場に諮った結果、満場一致で可決承認された。

第２号議案：平成２５年度決算報告の承認を求める件

議案書に基づき、議長が決算報告（比較損益計算書、事業費の内訳書、比較貸借対照表、財産目録）の内容について説明を行った。また本議案が承認されるまでは、決算報告書の案として取り扱いを頂きたい旨、補足があった。次いで、二宮剛美監事が監査報告を行い、昨年に比して精度の高い計算書類であった旨の報告を行った。

議長が議場に諮った結果、本議案は満場一致で可決承認された。

第３号議案：役員改選の承認を求める件

議案書に基づき、議長は本総会終了の時をもって理事、監事の全員が任期満了となるため、改選を行う必要があることを述べ、また当法人の事業運営の都合上、理事５名を新たに選任したい旨を述べ、次いで新任理事候補者が議場で挨拶を行った。

議長が議場に諮った結果、本議案は満場一致で可決承認された。内容は議案書の通り。

併せて議長は、昨日開催された理事会において、本第３号議案が承認されることを前提として、副会長の一部交代が承認された経緯を説明し、平成２６、２７年度は、大川洋一、佐藤里美、長野和子の３名が副会長となる旨の報告があった。

第４号議案：定款施行細則の承認を求める件

議長は、当法人の定款第５条第１項第１号の施設会員、第７条の経費負担、第１１条第２項の代議員選挙、第２７条の役員の任期、以上について法人の運営上詳細な規定を設ける必要がある旨を説明し、議案書の別添資料に基づき定款施行細則案の内容を説明した。議長が議場に諮った結果、本議案は満場一致で可決承認された。

５）平成２６年度事業計画および予算案の報告

議案書に基づき、各担当理事が、平成２６年度事業計画の内容について説明を行った。次いで会長が、平成２６年度予算案の説明を行った。内容は議案書の通り。なお、事業計画、予算案共に昨日開催されて理事会において承認を得ている。

６）事務局より報告

議案書に基づき、議長は報告内容について説明を行った。

以上をもって、本日の議事を終了したので議長は閉会を宣言した。

上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款第３４条のとおり会長及び監事が次に記名押印する。

平成２６年７月２０日

議事録署名人　　会長・議長　　稲見誠

議事録署名人　　松本一郎

議事録署名人　　佐藤順一

比較損益計算書

自 平成25年 6月 1日

至 平成26年 5月31日

科目	予算額	決算額	差異
【経常損益の部】			
経常収益	**29,750,950**	**30,683,278**	**932,328**
[事業収益]	**[29,724,950]**	**[30,653,890]**	**[928,940]**
(会費収入)	(11,105,000)	(13,174,000)	(2,069,000)
入会金	240,000	450,000	210,000
年会費	10,515,000	12,329,000	1,814,000
賛助会費	350,000	395,000	45,000
(書籍販売)	1,069,950	1,636,190	566,240
(広告収入)	500,000	320,000	-180,000
(資格認定収入)	5,050,000	3,819,000	-1,231,000
(全国研究大会)	12,000,000	11,704,700	-295,300
[財務収益]	**[26,000]**	**[29,388]**	**[3,388]**
受取利息	1,000	2,181	1,181
雑収入	25,000	27,207	2,207

科目	予算額	決算額	差異
[事業費用]	**[23,541,000]**	**[28,610,145]**	**[5,069,145]**
(全国研究大会)	(12,000,000)	(13,655,044)	(1,655,044)
(研修委員会)	(400,000)	(1,565,892)	(1,165,892)
(広報委員会)	(1,400,000)	(1,313,003)	(-86,997)
(機関誌委員会)	(200,000)	(266,007)	(66,007)
(調研・ｲﾝｼﾃﾞﾝﾄ委員会)	(200,000)	(387,777)	(187,777)
(ｲﾝｼﾃﾞﾝﾄ管理ｼｽﾃﾑ運用支援費)	(0)	(2,504,250)	(2,504,250)
(感染症委員会)	(200,000)	(90,320)	(-109,680)
(資格認定委員会)	(3,950,000)	(4,473,579)	(523,579)
(倫理委員会)	(100,000)	(0)	(-100,000)
(保育園PT)	(100,000)	(92,885)	(-7,115)
(マニュアル改定PT)	(100,000)	(0)	(-100,000)
(自己評価PT)	(100,000)	(0)	(-100,000)
(事務局)	(4,791,000)	(4,261,388)	(-529,612)
印刷費	200,000	373,478	173,478
旅費交通費	1,400,000	629,610	-770,390
通信費	200,000	163,611	-36,389
租税公課	20,000	102,714	82,714
事務用品費	100,000	374,646	274,646
広告宣伝費	21,000	0	-21,000
支払手数料	1,500,000	2,120,446	620,446
会議費	150,000	108,986	-41,014
支部研修会費	1,200,000	387,897	-812,103
経常利益金額	**6,209,950**	**2,073,133**	**-4,136,817**

科目	予算額	決算額	差異
[経常外収益]	[0]	[1,513,193]	[1,513,193]
期末書籍棚卸戻入益	0	1,513,193	1,513,193
[経常外費用]	[0]	[1,114,361]	[1,114,361]
期首書籍棚卸繰入損	0	1,114,361	1,114,361
経常外利益金額	0	398,832	398,832
税引前当期純利益金額	6,209,950	2,471,965	−3,737,985
法人税等	600,000	1,100,000	500,000
当期純利益金額	5,609,950	1,371,965	−4,237,985
前期繰越額	6,402,922	6,402,922	0
次期繰越額	12,012,872	7,774,887	−4,237,985

監査報告

私たち監事は、平成25年6月1日から平成26年5月31日までの平成２５年度における会計および業務の監査を行いました。その結果次のとおり報告いたします。

１、監査の方法の概要

（１）会計監査については帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討いたしました。

（２）業務監査について、理事会およびその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。

２、監査の結果（意見）

（１）比較損益計算書、比較貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し法人の収支状況および財産状態を正しく示していると認めます。

（２）業務報告の内容は事実であると認めます。

（３）理事の職務執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

平成26年7月15日

監事　青木佳之

監事　二宮剛美

第５回 千葉県・千葉市支部合同研修会報告

今回で５回目となる千葉県・千葉市支部合同研修会が平成26年９月23日に行われ、保育士54名、看護師15名、医師６名、その他職種３名、計78名が参加されました。

今回のプログラムは①全国病児保育協議会から感染症対策委員会の出張講座（感染症対策委員佐藤好範先生）および病児保育専門士認定制度について（資格認定委員佐藤里美）の報告、②病児保育専門士第一期生による演題発表、③特別講演でした。感染症の出張講座では協議会感染症ガイドラインに沿って感染症の病態・感染経路と対策、室内感染事例とその考え方などについて講演していただきました。

新規に開設された施設の方はもちろんのこと、各施設に応じた感染対策を見直す機会となり、感染症についてはタイムリーな話題も含めてもっと勉強したいという声もありました。千葉県内では病児保育専門士第一期生が９名誕生しています。今回はその中の佐藤千里さん（ポピンズルーム）、金田奈緒子さん（バンビーノ）に保育看護の実践報告をしていただきました。

いずれの演題も病児保育室での保護者対応に関連した内容で、常日頃の保護者対応の難しさや大切さを発表されました。お二人の発表はとても好評で、保育に対する熱心さが伝わってきた、もっと聞きたかったなどの感想が多く、次回他の専門士の方々の発表を期待する声も寄せられています。

特別講演では、病児保育施設におけるリスク・マネジメント～子どもの命を守り、職員の心と仕事を守る～をテーマとして、NPO法人保育の安全研究・教育センター代表理事掛札逸美先生に講演をお願いしました。「事故の予防はいかに大変か」、「予防できないから事故なのか」、「コミュニケーションがとれていれば非日常的な事故にも対応できる」など大変有益なお話でした。講演後参加者からは、保育が怖くなったが参考になった、明日からの仕事に勇気と力を頂けた、時間が短く感じられるほど聞き入ってしまったなどの感想がありました。

今回の研修会について、プログラムの内容はいずれも「今後の病児保育活動に参考になる」が９割以上と好評で、研修内容が充実していて時間が短く感じられた、考え直すことがたくさんあった、早く現場に帰り保育したくなった、など同様の感想をたくさんいただきました。

さとう小児科医院　病児保育室バンビーノ　佐 藤 里 美

第24回 大阪支部研修会報告

大阪支部は、現在33の病児保育施設が加盟し、年に１回の支部総会と年に３回の支部研修会を開催しています。平成26年度は、10月18日に第９回支部総会を大阪府立男女共同センターで開催し、69名の参加を戴きました。

支部研修会は会員施設が持ち回りで開催し、本年度第２回（通算第24回）は、12月６日に寝屋川市の医療法人協仁会小松病院会議室を会場に、併設病児保育所つくしが当番で開催し、医師２名、看護師10名、保育士39名、総務１名の計52名の参加でした。午後１時半からの1時間半で、原田佳明が講師となり、９月に発行された「必携病児保育マニュアルvol. ２」を元に、７月に開催された第24回全国病児研究大会in東京での調査研究委員会・インシデント管理委員会のセミナー「安全な病児保育のためのセーフティマネジメント」のスライドを使用した委員会出張講習と、マイムスの説明、危険予知トレーニングの紹介を行いました。

後半１時間で、前半の講義を元に、10名ずつ５つのグループに分かれ、グループディスカッションを

行いました。午後４時からは病児保育所つくしの施設見学を午後５時まで行いました。

終了後のアンケートでは、37名（71％）から好評な回答を戴き、グループディスカッションは、「各施設の工夫している内容がわかり、早速実践したいことがたくさんありました。」など、支部会の和合と盛り上げに特に有用と思いました。

全国病児保育協議会大阪支部長
調査研究委員会・インシデント管理委員会委員
協仁会小松病院名誉院長　病児保育所つくし　原 田 佳 明

北東北ブロック研修会・交流会報告

平成26年９月15日敬老の日に、岩手県盛岡市で青森、秋田、岩手の三県の北東北病児保育室交流会が行われ、病児保育の現場に携わる医師や看護師、保育士など64名の方が参加されました。

会の冒頭で病児保育室ことりの森の松原徹先生から北東北での12年の歩みのお話がありました。病気の時に親が看ずに施設利用をするという事に最初は批判もあり、その中で様々な案を出し合い北東北の病児保育が作られていった12年であったとのお話を聞く事ができました。私も一般の保育園に勤めていた時には、預ける保護者の気持ちが理解できませんでした。しかし、実際に病児保育の現場で見る保護者の姿は藁にも縋る思いで預けに来ています。私ができる事はなんだろうと考え、不安を抱えるたくさんの子どもや保護者の気持ちに寄り添う保育をしたいと思いました。

また、母子分離における心のサインを子どもの行動や表情から学ぶロバートソンフィルムの上映会では、実際に毎日病児保育室で起きている母親との分離不安を観ているような気持ちでした。病状に合ったケアはもちろんの事、不安で母を待つこども達に

は心の寄り添いが大事なケアになるのだと学びました。寂しい気持ちを受け止め、出来るだけ楽しい時間を過ごしてお迎えを待てるように、ひとりひとりの希望に応えられるようにと、日々遊びのアイディアを考えています。

また、分科会は３つに分かれて行われました。私の参加した分科会１では、病児保育室での現状、困っていること等を出し、それぞれどのように対応しているかを話し合いました。病児に勤めたばかりの方もいて、情報交換と普段の保育の振り返りの機会となり、とても有意義な分科会でした。

（青森）病児保育室ことりの森　保育士　原 子 素 世

第９回石川県支部交流会報告

平成26年６月22日(日)　金沢市教育プラザ富樫に於いて、第９回石川県支部交流会が開催されました。参加施設の内訳は病児保育（11施設）、病後児保育（１施設）で参加人数は35人（医師２人、看護師８人、保育士23人、その他２人）でした。

初めに、アメリカの心理学者トマス・ゴードン博士によって始められた親教育プログラム「親業」の、認定親業インストラクターである石橋久子先生から、「親業に学ぶ子どもとの接し方」と題して講演を頂きました。子どもが悩んでいるときに親や保育者がついやりがちな対応には、①命令、②脅迫、③説教、④提案、⑤講義、⑥非難、⑦同意、⑧辱める、⑨解釈、⑩同情、⑪尋問、⑫ごまかし、の12の型があるとの説明がありました。

子どもが心を閉ざしてしまうこれらの対応を自然に使っていることに、参加者はチェックシートを使って気づくことができ、能動的な聞き方をすることによって子どものサインに気づいて対応することが大切であることを確認しました。

また、「あなた」が主語のメッセージは子どもに

本心が届きにくく、「わたし」が主語のメッセージは子どもの心に届きやすいことを学びました。講演中は話を聞くだけでなく、ゲームを取り入れての自己紹介やグループでのロールプレイ等で学び、楽しく時間が過ぎました。有効な手法が学べて良かった、自分の言葉かけを振り返る機会になった、などの意見が聞かれました。

講演の後は事前に各施設から寄せられていた質問を中心に全体で意見交換を行いました。医師からの助言を得たり、他の施設の現状を聞いたりする事ができ、自分の保育施設を見直すきっかけになり大変良かった、という声が聞かれました。

今後、来年は交流会開催10回目となるので北陸3県の合同研修会等も考えて、支部長以下他の施設との連携を図りながら保育看護の質の向上を目指していきたいと思います。

金沢医科大学病院　病児保育室すまいる　番匠 美津子

加盟施設紹介

施設名　医療法人社団サンタクルス　病児保育室「エンジェルスマイル」

所在地　兵庫県宝塚市武庫川町6-22　ザ　タカラヅカテラス2F
TEL・FAX 0797-83-1168
http://www.santacruz.or.jp/angel/

記入者名　守口恵子

開設日　平成26年4月

定　員　9人

スタッフ　看護師1名
保育士　常　勤2名
非常勤4名

子育てをされながらお仕事をがんばっておられるお母様、お父様のお役に少しでも立ちたい。その一心で、平成26年4月に宝塚で初の病児保育室を開設しました。

クリニックビルの日当たりのよい2階に位置する当室は、4室とシャワー室を備え、遠く甲山や阪急電車を眺めて子どもたちは過ごしています。

「おはようございます」の挨拶と笑顔とで子どもたちをお迎えし、普段とは異なる環境でも子どもたちがゆったり穏やかに楽しい一日が過ごせるよう心掛けています。

お迎えの時に子どもたちの笑顔をご覧になられ、「仕事に行くことができました。子どもたちも無事過ごせました。助かりました。」というお言葉をいただいた時。それが私たちスタッフの何よりの喜びです。市民の方々に信頼いただける保育室を目指してこれからもがんばります。

編集後記

各委員長抱負を短文でお願いしました。この字数では…と不満をお持ちでしょう。会員の皆様にはその辺の事情をお酌み取りの上、輝かしい1年に期待してください。

（広報委員長　藤本　保）

協議会ニュースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 全国病児保育協議会 広報委員会

担当：藤　本　　保

〒870-0943 大分市大字片島83-7
大分こども病院
FAX.097-568-2970
E-mail:byouji@oita-kodomo.jp

Printed by AIKOHA